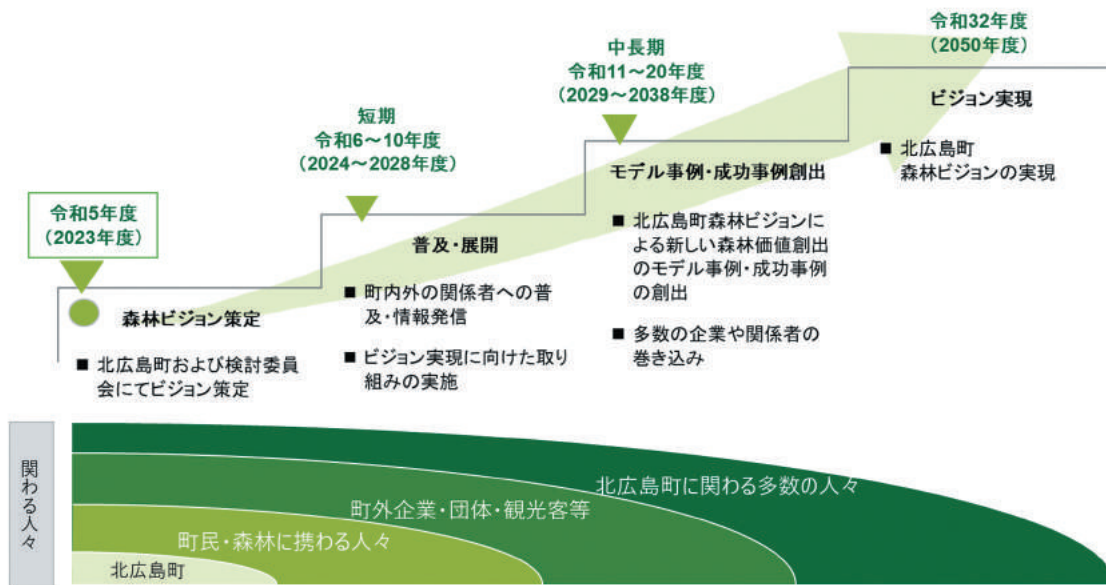
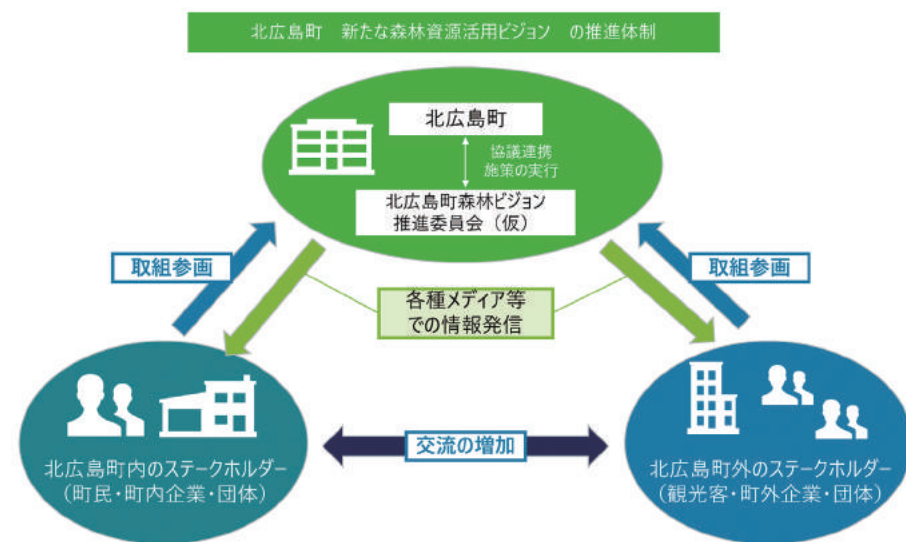


本ビジョンでは、各種の施策の展開をアクションプランにおいて短期・中長期で整理しています。令和6年度からは、本ビジョンの取組を展開していくとともに、町民の皆様への普及の機会を多く設け、多くの方を取組に巻き込んでいくことが必要になってくると考えています。町民の皆様にも、是非具体的にご意見や要望、取組みへの参画をお願いしたいと考えています。



本ビジョンを実現していくため、北広島町・ビジョン推進委員会が中心となり、北広島町の町民の皆様や、北広島町外の関係者の方々を巻き込んで、取組を進めていきたいと考えています。



本ビジョンの実現に向けては、中長期にわたった実効性のある取組が必要となります。本ビジョン実現に向けた取り組みの財源として森林環境譲与税を活用していく方針です。

森林環境譲与税の使途について(北広島町ホームページ)▶



概要版

北広島町 新たな森林資源 活用ビジョン

Kitahiroshima-Cho
Vision for New Forest
Resource Utilization



北広島町は、町民が参加し、またそのような活動の輪が広がっていく未来に向けて令和5年度に「北広島町 新たな森林資源活用ビジョン」を策定いたしました。

北広島町としては、林業事業の対象となるスギ・ヒノキの人工林のみならず、「せどやま」と呼ばれてきた里山にも、森林としての高い可能性があると考えます。昔は、家の裏山を「せどやま(背戸山)」と呼び、人々が日常的に薪や草などの資源を得る場であり、生活に欠かせないものでした。人々によって利用され、整備された場所に咲くササユリはせどやまのシンボルであり、北広島町の町花となっています。

そのようなササユリの咲く北広島町の景観を守るためにも、適切な森林の活用を進めることが必要不可欠です。スギ・ヒノキの森も、広葉樹の森も、北広島町のすべての森林を町民の皆様が適切に活用していくことが、森林の健全度を保ち、ひいては生物多様性や様々な公益的機能の発揮につながっていくとの願いを込めています。

このビジョンは「北広島町 新たな森林資源活用ビジョン検討委員会」のメンバーが、北広島町の森林の未来を協議することで創出されました。今後、本ビジョンの実現を目指して様々な取り組みを進めていきたいと考えています。

森と共に暮らす町、北広島町

森林ビジョン概要

「北広島町新たな森林資源活用ビジョン」では、4つのテーマにおいて基本方針を定めるとともに将来の目標、戦略・施策等を整理しています。ここでは各テーマのビジョンイメージを紹介します。

1

テーマ

林業・木材産業の振興

基本方針 林業・木材産業を次世代に継承する



2

テーマ

町民と森林の関わり

基本方針 町民の暮らしと森林および町産木材をつなぐ



*1ここでの地域とは、芸北地域・大朝地域・千代田地域・豊平地域を指す
*2里山を管理できない所有者と、里山を保有・管理したい企業・個人をマッチングするプラットフォーム

森林ビジョンの計画期間

森林ビジョンは2024年度(令和6年度)から2050年(令和32年度)までの計画としています。将来的なビジョン実現に向けて、令和6年度より各種の施策を推進していきます。

3

テーマ

公益的機能の発揮

基本方針 森林整備を通じ、豊かな自然と暮らしを守る



4

テーマ

新たな森林の価値創出

基本方針 森林の価値創出に向けてたゆまず追求する

